

こんなことをしてきました。こんなことを予定しています。

8月に発足した「おがわ町九条の会」も半年立ちました。「学習」と「宣伝」と「交流」を続けています。この間の主な活動報告と、これからの予定です。

- 憲法全文をみんなで読みました。(7月～2月 計7回の学習会を継続開催)
- 10月 憲法学習会「どうするどうなる私たちの生活」開催(講師弁護士国吉真弘氏)
- 1月「憲法と暮らしを考えるつどい」開催(女性フォーラムを中心に)
- 資料集「日本国憲法の原風景・現風景」発行(好評頒布中)
- 2月5日「憲法と文化のつどい～川越～」4名参加

「つどい」には東上線沿線から130名が参加。船橋功一市長のメッセージの朗読から始まりました。文化行事は合唱あり、尺八ありの楽しいものでした。ハッピートレインや、たかはしべんさん、仲山百合子さんの本格的な演奏を堪能しました。続いて、上福岡、富士見、川越、東松山、小川等の各九条の会(準備会)からの報告がありました。「地道な活動が世論をつくる」ことを皆で確認しました。

- 2月11日「東松山九条の会学習会」に渡辺礼一さん(講師)ほか1名参加

《東松山からの投稿》

「東松山九条の会」では2月11日、市民文化センターにおいて小川町の渡辺礼一さんを講師に「国民投票法と憲法」と題して学習・交流会を行ないました。

挨拶で山本茂代表は松山高校の戦没者の記録をまとめた「松韻遙かなり」を片手に、自らの学徒出陣当時に思いを込め「前途ある青年が国家のために命を捨てた過ちを再び繰返してはならない」と訴えました。

渡辺さんの講演は期待どおりで、反省会でも、参加者からのアンケートでも「そもそもから話され分かり易かった」「学んだことを友人・知人に伝え賛同者を増やしたい」「もっと学びたい」とたいへん好評でした。

国民投票法案については、日本国憲法と明治憲法の基本原理の違いと憲法改正の限界があることなどから話を起し、憲法調査推進議員連盟の案では①一括投票をねらう②過半数は有効投票数とする③国民投票運動の規制など、出されている案は国民の真意が反映されないものであり、この法案を出させない運動が大事と話されました。

憲法の話は「そうだったのか」と理解が深まりました。特に、自民党「新憲法草案」に関し「公益・公の秩序」の説明は有益でした。憲法の押しつけ論に関し、いまの改憲の動きが1948年、アメリカ陸軍長官ロイヤルの発言に始まり、2000年10月のアーミテージ報告など現在に至るまで執拗に続けられ、いま九条改廃を押しつけているのがアメリカであることが話されました。

渡辺さんは講演の中で「九条の会」を大きくするにはどうするか。ていねいな助言をされました。参考にしたいと思います。

「東松山九条の会」は10月までに1000名の賛同者を目指しています。学習会はたえず行い、目に見える行動をと策を練っているところです。「市民があつと驚くイベントを」と意欲を燃やしています。

私たちは全県が「九条の会」で埋まり、「憲法九条はいまこそ旬」という潮流が日本中に渦巻く日を夢にしています。

東松山市 山野井 進さん

- ★ 4月1日「ビデオ上映と現地からの報告」(次ページ参照)
- ★ 4月「リンリンパレード」(自転車ハイク)を計画しています。

暖かくなったら、お花見をかねて、おがわ町を自転車(ママチャリOK)でパレードしませんか。興味ある方黒澤(090-2746-8623)まで連絡ください

- (ご案内)講演会「憲法九条いまこそ旬」講師 小森陽一 九条の会事務局長
主催 九条の会さかど 4月9日(日)午後1時30分 坂戸市コミュニティセンター

ビデオ上映と現地からの報告

～アジアにおきている現実を知ろう!～



日時 4月1日(土)午後1時30分

会場 小川町立図書館(会議室)

■第一部(ビデオ上映)「第二の侵略」

～開発・投資・派兵～ フィリピン
制作 映像文化協会(80分)

■第二部(おはなし) アガリン・サラ・長瀬さん

おさそい

フィリピンレイテ島での土砂災害は記憶に新しいところです。「自然環境問題」として片付けられそうな問題ですが、実はこれは、無計画に森林資源を伐採した結果、山林の保水能力の極度の低下が招いた「人災」です。しかもこの森林資源を、巧妙な手口で安く買い叩いているのが「日本」を初めとする「先進国」なのです。

「第二の侵略」と題したこのビデオは、2001年10ヶ月間フィリピンミンダナオ島での現地取材を元に「映像文化協会」が製作したものです。渡辺治氏(一橋大学教授、九条の会事務局長)が解説しています。カメラは難民生活を余儀なくさせられている人々を追い、延べ70人以上のインタビューとその生活の様子を撮影することに成功しました。

今回、そのビデオの冒頭に登場する、解説役のミンダナオ出身の女性「アガリン長瀬さん」の、貴重なお話もお聞きます。資源と経済、戦争と平和の問題を、アジアの視野から一緒に考えてみませんか。

「九条の会全国交流集会」に参加

全国各地・各分野の「九条の会」はこの一年半余でその数は4000を超えました。(右表参照)これは「憲法9条を変えさせてはならない」という多くの人びとの熱い思いのあらわれです。

このたび、「九条の会」発足からまる2年を期して全国各地・各分野の「九条の会」が一堂に会し、お互いの経験を学びあいながら、今後の運動のいっそうの前進に役立てたいとの願いから「『九条の会』全国交流集会」が6月に開かれます。わが「おがわ町九条の会」もこれに参加します。お問い合わせは「会」事務局まで。

県名	総計	県段階	兵 庫	119	
北海道	315		京 都	302	
青 森	165	○	滋 賀	44	○
秋 田	18	○	奈 良	44	○
岩 手	55	○	和 歌 山	43	○
宮 城	54		岡 山	91	○
山 形	48	○	広 島	22	
福 島	46	○	山 口	40	○
東 京	335		鳥 取	24	△
埼 玉	122		島 根	26	△
茨 城	41		香 川	25	○
栃 木	22	○	愛 媛	31	○
群 馬	69		徳 島	20	○
神奈川	236	○	高 知	47	○
千 葉	204	△	福 岡	135	
山 梨	35	○	佐 賀	15	○
長 野	202	○	長 崎	30	○
新 潟	72	○	熊 本	59	○
石 川	39	○	大 分	23	○
富 山	10	○	宮 崎	25	○
福 井	23	△	鹿 児 島	44	○
静 岡	76	○	沖 縄	10	○
愛 知	218	○	其 他	17	—
岐 阜	53	○	分 別	15	—
三 重	18	○	合 計	4079	—
大 阪	352	○			

2006/1/26 現在

「分野別九条の会」からの報告

音楽・九条の会 音楽の専門家と愛好家を対象に、当面1万人をめざしている。9の日に連続コンサートを開催することなどを考えている。

九条の会・医療者の会 9条と合わせて25条も重視しているので、去年の9月25日に新聞に意見広告を出したが、今後毎年出していきたい。

映画人九条の会 日本映画が自由でなかった時代の映画を掘り起こして鑑賞する運動などにも取り組んでいきたい。

マスコミ九条の会 1月は、今のマスコミのあり方について、現役、OB、学者、視聴者による徹底討論の集会を計画している。

建設人・九条の会 600万人の建設関係者の過半数が9条を守る立場に立つことをめざしている。

宗教者九条の和 仏教、キリスト教その他の宗教の賛同者が1500人を超えた。まだ賛同のない大きな教団との懇談・要請を広げたい。

九条の会・詩人の輪 発足以来2回の「つどい」を開き、自作の詩の朗読や意見交流をし、学習会をつづけることにしている。

九条歌人の会 32の結社のリーダー格の人がよびかけ人になっている。大中小をとわず日本列島を縦断する講演会を開くことにし、北海道と四国ブロックが具体化している。

俳人九条の会 俳壇の有力者を含め賛同者が550名を超えた。

九条科学者の会 当面1万人の賛同者をめざす。3月には全国各地の科学者関係の9条の会の交流集会を開くことを考えている。

スポーツ九条の会 駅伝や市民マラソンなどに工夫をこらして参加している。種目別の「会」の結成も考えたい。

女性九条の会 各地にも女性の会がつくられつつある。昨年3回にわたるシンポを開いた。街頭でリレートークを計画している。

九条美術の会 昨年、写生会を兼ねて無言館ツアーを大好評だったので今年は京都で立命館の国際平和ミュージアム見学を織り込んだ写生ツアーを考えている。

農林水産九条の会 農協、漁協、農産試験場、大学関係の第一人者らのよびかけで発足。平和と食糧生産を発展させることを基本に、ブックレット「憲法と私」を発行する。

民話の語り「九条の会」 お国言葉での「9条」の語り、自ら戦地から引き揚げてきた体験、地方に伝わる戦争と平和の語り、などをおこなっている。「語り」の出前も考えている。

「九条の会ニュース」1/29より抜粋

九条の会

No.8 2006.3.15 おがわ町九条の会

だより

〒355-0315 小川町みどりが丘 5-13-3(西田一雄気付け)

T/F 72-4445 Eメール kyujyouogawa@hotmail.co.jp

1/ルーマイセージ



「聞いて!聞いて!私の声」・・・「おがわ町九条の会」ではこれから、町のみなさんのいろいろな声を特集してゆきます。「九条へのおもい」「平和への願い」「現状への不平・不満」などなど、みんなに聞いてもらいたいことを、どうか事務局までお届けください(匿名でも結構です)。今回早速、三人の方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。(表題は編集部でつけさせていただきました)

「憲法を変えて戦争へ行こう・・・」!?

私の兄からの話。学徒動員で軍事工場に派遣されていた折、川に流されてくる大勢の遺体を、鳶口で引っ掛け、焼けたトタン板に乗せて、深川小学校へ運んだこと。そこが火葬場になっていた。目に焼きついているのは女性が子どもをおぶって、うつ伏せで浮いている姿だそう。東京大空襲の体験。・・・このようなことを孫たちにさせられるだろうか。

「憲法を変えて戦争へ行こう・・・」の冊子(編集部注 岩波書店発行のブックレット『憲法を変えて戦争へ行こう』という国にしないために)を中3の孫に見せ、友達と話し合うよう提案した。「エッ!オレが!?!」の返事ではあったが、自分たちが大人になった時、現実になったら!と考えるきっかけにして欲しいと願っている。友人たちが来た時、機会を見て、私からも皆に問いかけてみようと思う。小田基子さん(大塚)

この孫のために・・・

熊谷空襲の焼けた空は子ども心にも仰天の極みだった。あれから60年戦争を知らない世代が今の平和な世の中の中心になっている。この、戦争のない平和を守りたい。

孫とキャッチボールできる幸せを味わえるのも九条あればこそ。この九条を守るために力を尽くしたい。新井義一さん(腰越)

よい映画をたくさん観よう!

最近の日本映画に「お国のために」「愛するもののために」戦うという作品が増え、ゆっくりとナショナリズムに傾倒しているようです。為政者は常に「平和のために」といつて戦争をくりかえしてきました。私たちはだまされてはいけません。本当の平和は戦争をしないことです。「平和と心の豊かさのために」みなさんも良質の映画をたくさん観て学び、その砦である九条を守りましょう。

黒澤敏明さん(増尾・映画鑑賞会「シネマサークルおがわ」事務局)